

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：なかまちっこ園	種別：認可保育所
代表者氏名：小林 和代	定員（利用人数）： 50名（50名）
所在地：〒224-0041 横浜市都筑区仲町台1-14-23	
TEL：045-479-6503	
ホームページ：https://doula.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	2011年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	有限会社 ドゥーラ		
職員数	常勤職員： 10名	非常勤職員：	17名
専門職員	保育士 12名	看護師	1名
	管理栄養士 1名	調理師	5名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)	
	保育室4室、事務室1室、調理室1室	園庭改修中です。	

- ・なかまちっこ園は、横浜市営地下鉄「仲町台」駅より徒歩2分ほどの所にあります。近隣には、商店や飲食店マンションが多数並んでいます。周辺は整備され広い道路が通っていますが、保育園が面する通りは、自転車と歩行者の専用道路になっており、騒音もなく、安全に出入りできます。園舎北側には園庭があり、1歳児クラスから出入りし、砂場やウッドデッキで遊ぶことができます。保育室の通りに面した日当たりのよい所に、複数のプランターを置き、ほうれん草や人参、大根を育てています。玄関前では大きな箱でカメを飼育しています。近隣にはそれぞれ特徴のある公園が多数あり、子どもたちの散歩コースとして親しんでいます。
- ・なかまちっこ園は、2011年（平成23年）4月に有限会社ドゥーラにより開園されました。その後、2園を開園し現在は3園を運営しています。
- ・保育室は4階建てビルの1階にあり2階から上は住宅となっています。
- ・保育園の定員は50名で0歳から就学前の子どもが通い、月曜日から土曜日まで7時から20時までの保育、土曜日はなかまちっこ園にて、なかまちっこじゃんぷ園との共同保育をしています。

③理念・基本方針

基本理念	保護者が安心して働ける環境を保障する。
基本方針	～支えあい 育ちあい 子育てをじっくり楽しもう！～ 子どもたちの成長をご家族とともに見守り、ともに喜び、ともに支える。 保育者が子どもと一緒にいて楽しく、子どもも保育者と一緒にいて楽しい園。 専門的な健康安全管理
保育目標	～すべての子どもが かけがえのない自分に気付くように～ 「笑顔」 みんなで笑いあおう 「思いやり」 自分もともだちも認め合える心を大切にする 「誇り」 知りたい！やってみたい！毎日を大切に大きくなろう 「こどもらしさ」 こどもらしくのびのびと

目指す子ども像 ～みんなで大きくなろうね～

- 日々を楽しみながら、みんなで生活に大切なことを知り育ちあう子ども
- 泣いたり、笑ったり、怒ったり、けんかしたり、なんでも一生懸命な子ども
- ともだちを大切に思う子ども
- 周りの世界に興味を持ち、好奇心豊かで、意欲的な子ども

目指す大人像 ～みんなのほいくえん～

- 責任・やる気・貢献
- 共に悩み・共に喜び・共にはげましあい 一生懸命子どもに向き合う
- 仲間を大切に思う、感謝する気持ち

④施設・事業所の特徴的な取組

保育園ならではの発見・挑戦・取り組む・楽しむことが出来る遊びを「やりたい」と思ったその時にできるように環境を整えています。子ども自身が活動を考え、本物に触れたり、やりたいことを自分で見つけられるよう、子どもたちが自ら選択し、日々の積み重ねを大切に活動することを保障しています。保育者はできるだけ子どもたちがお互いに育ちながら見通しをもって生活する力を引き出すように関わり、子どもたちがお互いに認め合い、助け合うような関わりが自然と持てるように寄り添っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年9月20日(契約日)～2024年4月30日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	3回(2018年度)

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●職員に見守られ、子どもたちはのびのびと生活を楽しんでいます

園では、子どもが主体的に活動できることを大切にし、環境を整備して保育を展開しています。保育室にはロフトや遊びのコーナーが設定されていて、友だちと遊んだり、一人でじっくり遊んだりすることができます。コーナーの玩具は年齢に合わせて取り出して遊びやすい高さに揃えられ、製作なども自由にできるよう廃材などの素材が豊富に揃えられています。乳児クラスの時から活動の場所を選んだり、幼児クラスでは毎日ミーティングで話し合って遊びの内容や散歩の行き先を決めています。職員の提案から、運動会の競技を、3種類から参加したいものを選んだり、発表会の衣装作りにも子どもたちが取り組んだりしています。また、2・3歳児、4・5歳児は異年齢のクラス編成となっており普段から異年齢で活動しています。朝夕の合同保育や散歩なども異年齢で交流するほか、毎月0のつく日は、「なかまっこ Day」としてクラスの枠を超えて好きなコーナーを選んで過ごしています。そうした中で子どもたちは、お互いの違いを認め合い共に成長しています。

●法人3園のチーム力で子どもに向き合い、仲間を大切にし、連携して保育に取り組んでいます

法人の3園は同区内の近隣地域に相次いで開園され、同じ理念、目標のもと職員同士連携して保育に取り組んでいます。保護者会は3園で一つ、保護者が参加する運営委員会も3園一緒に開催し、子どもが育つ環境をみんなで見守っています。職員も3園で日々の保育体制を協力し連携するとともに、保育の研修や節目の会議は3園合同で行っています。また、社会福祉士、主任、クラスリーダーが参加する支援委員会では様々な家庭との連携について検討し合うなど、委員会活動や学年会議では互いの園の取り組みを発表し合い学び合って法人全体で課題の解決に向けて取り組んでいます。

●地域の特徴を捉え、子育て家庭のニーズを把握し様々な支援に取り組んでいます

地域の特徴として、「駅周辺の利便性高い地域で子育て世帯が多く住むが、転入してきた核家族家庭が多く、子育てに不安を抱えている人もいるのではないかと捉えています。住民が子育てに安心感をもてるようにと町内会地域振興イベントや「花を植える活動」、保育園の子育て支援イベント、育児相談などに取り組み、交流を広げています。

【今後に期待される点】

●法人と協力して中長期の事業計画を作成し、単年度の事業計画がそれと連動していくことが期待されます

3 園合同の会議や職員研修の際、法人会長が今後の方向性について口頭で伝えていますが、文書化はしていません。また、保育園では、年度末に業務の振り返りをし、課題をまとめて単年度の事業計画を作成しています。今後、法人と協力して中長期の事業計画を作成し、単年度計画がそれと連動し、職員と保護者に方向性を明示していくことが期待されます。

●標準的な実施方法等、様々な文書の作成と各種マニュアルの見直し、更新をしていくことが期待されます

標準的な実施方法や各種マニュアル等が備えてありますが、中には作成のないものや検討後の修正がされていないものが散見されます。今後、必要な文書の作成や書類、データ共に必要な修正をし、運営に生かし次世代に繋いでいくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けて初めに保護者の方にお礼申し上げます。

施設長：保護者の皆様、いつも園運営のご理解、ご協力いただきありがとうございます。

お忙しい中、多くの保護者の皆様アンケートにご協力いただいたことで、職員で振り返り、新たな気付き、課題を知ることが出来ました。課題に対して今後も職員で話し合い改善できるように取り組んでいきます。

自分たちが日々努め心がけていること、継続していくべきことも共有することが出来ました。今後も職員同士の会話をしてコミュニケーションをとり、共有・共感を大事にして、子どもも保護者も職員も心地よい環境づくりをしていきます。

今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

主任：今回、第三者評価を受けるにあたり、職員間で園について振り返り、話し合うことで、新たな課題に気づくことができ、保護者の方とも、職員間でもコミュニケーションが重要なことが改めて感じられました。保護者の皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。

リーダー：第三者評価からの視点や評価があったことにより、現在行っている保育の内容を見つめ直したり、考え直したりすることが出来ました。高い評価を頂いた点に関しては、自分たちが今まで行ってきた内容を認められたことで、今後自信を持って仕事をするきっかけにもなりました。第三者評価の話し合いの場を通して、職員同士更に会話を深められることが出来「こんな保育をやってみたい」「保育室にこのようなコーナーを作ったらもっと楽しくなりそう」など話にもなり、自分たちのスキルアップにも繋がったと感じました。今回の経験を通して、より良い保育現場を作っていきたいと思えます。ありがとうございました。

なかまちっこ園

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり